

「腎皮質容積とシスプラチン腎症の関連の検討」

に対するご協力をお願い

研究責任者 畔上達彦

研究機関名 慶應義塾大学医学部

（所属） 内科学教室 腎臓内分泌代謝内科

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者様へ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者様への新たな負担は一切ありません。また患者様のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者様は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2012年～2026年にシスプラチンを含む抗がん剤治療を受けた患者様のうち、シスプラチン投与前1年以内に造影CT画像が撮影され、左右腎皮質容積の測定が可能であり、シスプラチン投与1か月前以内の血清Cr値および投与後14日以内の血清Cr値が取得可能な患者様

2 研究課題名

承認番号 20261076

研究課題名 腎皮質容積とシスプラチン腎症の関連の検討

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学医学部

研究代表者

専任講師 畔上 達彦

共同研究機関

済生会中央病院

研究責任者

腎臓内科 部長 小松 素明

4 本研究の目的、方法

目的：腎臓の皮質容積とシスプラチンによる腎障害との関連の検証を行うことでより適切なシスプラチンによる腎障害の予防につなげることを目指します。

方法：

シスプラチンを含む抗がん剤で治療をされた患者様において日常診療の過程で得られた診療情報、CT画像と検査データを用いて、CT画像から測定した腎臓の皮質容積とシスプラチンによる腎障害との関連の検証をいたします。

5 協力をお願いする内容

対象となる方の年齢、性別、化学療法情報、既往歴、内服薬、嗜好歴、身長、体重、血圧、血液検査結果、尿検査結果、CT画像を使用して解析を行います。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028年3月31日

7 外部への試料・情報の提供

なし

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学病院 腎臓内分泌代謝内科

戸田匡太郎

vcfmasa@gmail.com

03-5363-3796

以上